



『愛に関する短いフィルム』 3/14

本例会は参加者 32 名(うち会員 9 名)と盛況だった。反省点としてパワーポイントの不調があったものの、特に最後の場面に感動したという意見が多かった。アンケート(12 枚)では「大変良かった」5 点:5 名、「良かった」4 点:5 名、「良くなかった」2 点:1 名、平均 4.3 点と高評価だった。なお、本作が犯罪に結びついた事例はなく、レイティングも設定されていない。今後の上映希望の作品では、『トリコロール』シリーズ、『デカローク』シリーズ、『私は決して泣かない』『早春』『戦場のピアニスト』などが挙げられた(最近 4 回分の集計)。 (池田光良、運営委員)

ポーランドの巨匠クシシュトフ・ケシロフスキは、ワルシャワ生まれ、名門ウッチ映画大学を卒業後、多くの短編やドキュメンタリー作品を手掛け注目を集める。『傷跡』(76)で劇場長編映画デビューを飾り、『アマチュア』(79)でモスクワ国際映画祭グランプリを受賞。その後の『ふたりのペロニカ』(91)や『トリコロール』シリーズ(93-94)は極めて高い評価を受けた名作である。

本作は十戒をモチーフにした巨編『デカローク』(1988-89)の「第 6 話 ある愛に関する物語 あなたは姦淫してはならない」を長編映画として再構成し、テレビ版とは全く異なるエンディングを迎える独立の映画として製作された作品である。

「見つめること」「見つめられること」によって変異してゆく愛の形と心模様で、ヒッチコック『裏窓』の影響がある。青年トメク(19 歳)と年上の女性マグダ(30 歳)の陽炎のような愛のゆらめきを、美しく繊細な映像で紡いでゆく。ケシロフスキ中期を代表する傑作として高い人気を誇る、最もロマンティックな究極のラブストーリーである。

(坂尻昌平、映画研究者、札幌大谷大学非常勤講師)

アンケートにおけるコメント(一部)

◇のぞく側、のぞかれる側の心理的な描写が良かったです。10 代(男性)なら、誰でも年上の美しい女性にひかれる、憧れるのはあると思います。友人の母役の俳優の演技も良かったです。今から 38 年前の映画ですが、古さを全く感じさせません。(50 歳代)

◇思春期の男の子の心理をうまく描写していたと思うが、性描写が露骨で見ていられなかった。ヨーロッパやポーランドではこれが普通かも知れないが、もう少し美しいファンタジーのような描写であってもいいのではないか。盗み見(望遠鏡)、郵便物の抜き取りなど、見る人に犯罪を助長するのではないか。ただこの映画の心理的鋭さはすぐれていると思う。

この映画が『デカローク』『モーセの十戒』の戒めを題材とするなら、「トメク」の意味は私にはわからないが、「マグダ」は新約聖書の「マグダラのマリア」(不倫、姦淫の女性の代名詞)の名前にも意味がある。「モ

ーセの十戒」ダンテの「神曲」などをモチーフにしているということなので、本当はもっと深い映画であろうと思いました。私はこの「マグダ」には母性愛もあって、母性愛がトメクへのいたわりが変わったのではないかと思う。女優さんが素敵なおひとでした。

◇初めて見る映画でした。最初はのぞき系のいびつな精神状態の青年の話かと思いましたが、見る立場の青年が女と現実邂逅することで、見られていた女が見る方の立場となり、お互いに望遠鏡を通して本当に愛するモノを見ていたという様に思えました。とても良い映画だったと思い、また機会があれば見てみたい一本となりました。女の名前のマグダはマグダラのマリア(罪深き女)のシンボルですか?(60 歳代)

◇トメクの失恋が辛いですね。マグダの苦悩もいたいほど分かります。幸せな未来であってほしいですね。38 年前の作品とは思えない程新鮮でした。愛、孤独とは何なのかということをとメク、マグダから教えられました。(40 歳代)

◇「覗き」や「もてあそび」などゆがんだ形で愛を表現してしまう、人間は未熟な存在だなと感じました。池田さんの解説、面白かったです。(50 歳代)

◇最後のシーンがとても印象的でした。とても良かったです。セリフが少ないと思ったのは冒頭の約 10 分だけ。その後は表情や動きでそれぞれの思いや言いたい事などが十分に伝わってきました。BGM も静かな感じで少ないセリフとつりあっていました。他のシリーズものも是非見たいと思いました。(60 歳代)

◇他の方の感想をきいてから書こうと思いました。私は、このような流れの作品、切り取り方の映画が好きです。(70 歳代)

◇何故か生島治郎氏の『片翼だけの天使』をふと連想しました。但し、本(1984 年)も読んでいないし、映画(1986 年)も観ていませんが。

◇部屋が寒かった。40 年ほど前がずいぶん古めかしく思われた。(60 歳代)

◇大きめのスクリーンで集中して観ることが出来て良かった。学生時代におそらくテレビバージョンを観ているのですが、あまり印象に残っていませんでした。

◇ゆっくりとした心情の流れが良かった。(70 歳代)